

風邪の話

風邪とは鼻やのどに急性の炎症が起こっている状態のことです。原因のほとんどはウイルスが原因といわれています。ウイルスが粘膜から感染して炎症を起こすため、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・のどの痛み・せき・たん・発熱などの症状が起こります。

風邪の原因がウイルスである場合、直接効く薬は今のところありません。上記の症状を和らげる薬を用いて治療します。抗生剤を飲むと効くように思うかもしれませんが、ウイルスには効果がありません。抗生剤とは主に細菌を抑えるための薬で、多くの種類があり、細菌の種類に応じて適切に選択しなくてはなりません。さらに下痢を起こしたり肝臓をいためたりといった副作用や、耐性菌（抗生剤が効きにくい細菌のこと）を生み出してしまうというデメリットがあります。

注意しなければならないのは、風邪と同じような症状でも、他の病気が隠れていることもあります。また、慢性呼吸器疾患・心疾患・糖尿病などの基礎疾患を持っている方は重症化しやすいため、少しでも気になる症状があれば早めに受診してくださいね。

